

令和 3 年度 日本大学 学生 FD

CHAmmiT 開催報告書

日本大学学生 FD CHAmmiT スタッフ一同



自主創造
日本大学

これまで7回のスタッフミーティングを重ね迎えた、11月28日(日)のCHAmmiT本番！！今年度のCHAmmiTのテーマは、「**アフターコロナの日大の教育**」「**IT化と大学教育～学部への提案～**」でした。

新型コロナウイルスの影響を受けオンラインでの授業が普及し、大学教育のIT化・オンライン化が大きく進みました。コロナ禍でのオンライン授業から活かせるものを探り、私たちの学生生活を見つめ直し、アフターコロナにおける大学教育のベストプラクティスを探る思いからこのテーマを選定しました。



そしてこのCHAmmiTの本番は、今年度も昨年同様に開催はオンライン形式(Zoom)、スタッフは対面形式によるハイブリット形式での開催となり、私たちコアスタッフ・学生スタッフ・教職員全員にとって初めて顔を合わせる人がほとんど。

しかし「zoomでは前に一緒にしゃべりましたね！」などの声掛けに始まり、非常に短時間で良い雰囲気を作られ、その中で本番を迎えました！

スタッフは適切なディスタンスを図るために幾つかの会議室に別れzoomに接続しました。



今年度の CHAmmiT は、スタッフも含めて230名の方にご参加頂き、共に話し、想いを共有し、各学部別のグループで学部提案書を作成しました！

参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

普段、大学教育や大学ライフについて意見交換をする場がないので貴重な機会になったという意見や、学生が主体となって日本大学のあるべき姿を模索し実現していくストーリーが見えたなどの意見を多く頂き、多くの参加者にとって日本大学でのより良い学びにつながる展開ができたと考えています。

学部提案書 (生物資源科) 学部		
①昨年度提案書の状況(現状の整理)	②一年経ったの経緯(新たな経緯)	③「IT化と大学教育」へ向けての提案
1.ハイブリッド型授業の実施 2.教員向けオンライン授業の講習 3.利用していない施設等の費用減免 4.学生と教員が個別に意見交換を行う場とそれを踏まえた教員同士の話し合いの場の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍への対応で整備されたオンライン授業を、もっと活用できないか？ ・ハイブリッド型の講義において、オンラインで単位を取得できるか否か、不安を感じる生徒がいる ・施設の充実と活用向上 <p style="text-align: center;">↓</p> 利用度が減った施設については、その理由を分析して、施設の改善を図る理由を図る必要があるのでは？	<ul style="list-style-type: none"> ・教員向けオンライン講座の講義を受講できる出来る時間を、もっと設けられないか？ ・ハイブリッド型の講義を行う上で、まず質問を対面とオンライン上で行い、次の講義でそれらに対する、フィードバックを行うのはどうか？ <p><small>・この先、授業の一環として教室外に出ることが難しくなった場合、もっとITの活用が期待できると思います。何ができるようになるか、アイデアを出し合ってはどうか？</small></p>

尚、今回参加いただいた皆様と作成した「学部提案書」は、FD 推進センター（全学 FD 委員会）で共有し、のちに各学部にて「学部提案書」に基づき、より効果的な教育改善の実現に向けて、具体的な検討フェーズに入っていく予定です。



CHAmmiT は終わりましたが、私たちの CHAmmiT JOURNEY はまだまだ終わりではありません。皆様、本当にお疲れ様でした！今後ともよろしく願いいたします。